

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校

1/25

第27号

文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

2年生 ポスターセッション

1月23日（水）に、2年生はポスターセッションを行いました。ポスターセッションは、自分でテーマを決めて課題を見つけるところから始まります。そして課題についての仮説を立てます。その後、探究活動を進めて仮説が正しいか検証していきます。探究活動の内容をポスターに書いて発表します。ポスターセッションをすることで「活用」能力を高め、コミュニケーション力を伸ばすことをねらいにしています。

今回のテーマは11月に多くの事業所の皆様にご協力をいただき実施したチャレンジ体験です。チャレンジ体験に行く前に各自がテーマを考え、仮説を立てました。そして体験を通して探究したことをポスターにして発表しました。2年生の生徒は、観衆を前にして大きな声でわかりやすく伝えていました。観衆から出される質問にも丁寧に答えて、活発な意見交流ができていました。1年生は観衆として参加してくれました。1年生は、先輩の発表を聞いたり、質問したりしてポスターセッションを体験しました。大きな声で質問していた1年生の生徒が多かったことが印象に残りました。2年生になって自分たちがポスターセッションをする時に今回の体験を役立ててください。

体育館はたいへん寒かったのですが、お世話になった事業所の方や地域の方、PTAの方も来校され、ポスターセッションを聞いていただきました。ありがとうございました。



ふれあいトーク

ポスターセッションに続いて、「ふれあいトーク」を行いました。「ふれあいトーク」は、昨年度から始めて今年で2回目になる行事です。中学生の考え方や思いを大人の方に聞いてもらい、時には人生の先輩である大人の方からアドバイスを受けるなどして意見交流をしようというものです。60名を超える事業所の方や地域の方、はぐくみネットワークの皆様、PTAの方に参加していただきました。体育館は底冷えがしましたが、寒さを吹き飛ばすような熱いトークが繰り広げられ、生徒が身を乗り出して話しを聞いたり、あちこちから笑い声も聞こえるなど盛り上りました。

今回のテーマは、チャレンジ体験で学んだことや働くことの意義などでした。チャレンジ体験で働くことの楽しさやしんどさを学んだ2年生が、自分の考え方や思いを大人の方に伝えていました。大人の方は自身の体験を話されるなど活発な意見交流ができました。参加された大人の方からは、「小学生とはよく話しますが、中学生とは話す機会が少ないです。今日、中学生の皆さんと話をして素直でしっかりした生徒が多かったです。貴重な経験でした。」などの感想をいただきました。短い時間でしたが有意義な、そして朗らかな時を過ごすことができました。今回の「ふれあいトーク」をきっかけにして地域でも交流が進むことを願っています。